

第1学年 理数コース 海洋生物観察実習について

1年理数コースは8月8・9日に山口県の水産大学校で海洋生物観察実習を行いました。2泊3日の実習を計画していましたが、台風6号の影響で日程を1泊2日に急遽変更して実施しました。海での実習を実施できるか心配されましたが、何とか海も穏やかで、地曳網を使った生物の採集を無事に行うことができました。



力を合わせて地曳網を引いています



実習での「気づき」をまとめています

1日目は、水産大学校の前海（吉見湾）に入り、アマモの分布調査、アマモや、アマモ場に生息する生物の採集等を行いました。初めて海に入った生徒もいましたが、クラスメイト同士、力を合わせて網を引き、取れた生物をみんなで一斉に覗き込んでいました。また、海から研修室に戻り、すぐに実習で分かったことを班で共有しました。ホテルに着いてからも、さらに班で話し合いを行い、実習での「気づき」をまとめる作業を行いました。

2日目は採集した生物の同定作業やスケッチなどを行いました。台風の接近に備え、早めに水産大を出発しなければいけませんでした。水産大の先生方やTAの学生の方のご尽力のお陰で、限られた時間でしたが、充実した研修となりました。

3日目に計画していた発表会は水産大で実施することができませんでしたが、9月29日(金)に本校の視聴覚室で行いました。水産大の先生方・TAの学生の方も本校へお越しいただき、班員で協力して準備を行い、実習での気づきや考察などを発表しました。質疑応答も活発で、発表会を通して実習での学びを深めることができました。

水産大の先生方も生徒が深く考察をして、自分たちなりの考えを披露したことや、海の世界や魚などの生命の大切さに目を向けた発表ができたことを喜んでくださいました。研究を行う上で大切な「観察する力」を身につけることができ、充実した実習になりました。



アマモをスケッチしています



実習のまとめを発表しました

生徒の感想文より（一部抜粋）

- ・今回の実習を通して、海洋生物が住みやすい海の在り方について学ぶことができました。この機会に、自身の日常の行動を見直し、海への理解を深めることで、海の豊かさの保全に貢献していきたい。
- ・今回の実習で、今まで知らなかった水産学に対し、興味を持つことができました。また、学びのために生物の命を奪っていることにも気づき、絶対に無駄にしてはならないと感じた。
- ・この実習を通して、物事を最後までやりきることの大切さを学んだ。また、将来やりたいことと近い内容であったため、今までよりも鮮明に将来のことをイメージでき、より深く考えるきっかけとなった。
- ・アマモやアマモ場を守るためには、海をきれいに保つことも重要だと気づいた。そのためにも「海つなぎ」の活動に参加するなど、自ら行動していきたい。